

再エネを増やす努力	地域内でエネルギーを循環する仕組みづくり	再生可能エネルギーへ設置の補助。	再生可能エネルギー(太陽光以外)の調査研究	太陽光・蓄電池の補助金を増やす。	公共施設を先ず再エネでまかなう。
再生可能エネルギーの使用割合を大幅にアップ	再生可能エネルギーを市が推進する為の調査研究	国・県の補助金を活用し、再生可能エネルギー拡充	再エネの普及のため市の補助金を検討してほしい	国 電気自動車、太陽光パネルほかの義務化を補助	再エネ全般

太陽光発電設置への助成。	太陽光発電のメリット提供	住宅ソーラー普及 足場代の補助 (15万円)	公共施設・学校等太陽光発電全投入	現在の季節住宅をすべてソーラーパネル化する。農地を利用してソーラー化する(現行)。	学校の屋上に太陽光パネルの設置。(避難所になった時にも役立つのではないか)
行政が率先して発電事業者と土地権者とマッチングをする	エネルギーを作る家庭でのソーラー	住宅ソーラーパネル設置を公平な立場で試算してくれる機関の紹介	建て替え住宅にはソーラーパネルを義務化する	小・中学校などのソーラーシステム設置	業務用ソーラーの10年間買取
商業地域の駐車場をオールソーラーパネルに	ソーラーを駐車場・空き地にもっと増やす	既存住宅へのソーラーパネル設置補助	住宅のソーラーパネルも建て替えなどの補助があれば促進できる？	発電への啓蒙	ビルやマンションの屋上、道路での発電→蓄電(誰かが發明して)
再生可能エネルギーを使用した住宅に改装する方法を広める(やりたくても方法がわからない層がいるかも)	太陽光発電	ソーラーシェアリングを増やす。	ソーラーシェアリングを増やす	耕作放棄地へのソーラーパネルの設置を半官半民で進めていく仕組みの成功例を探してまねしていく	白井市の空き地と農地に再生化100%(農地)は30%→近隣の達成不可から傍目をもたらう シェアリング
太陽光を利用したエネルギー利用	梨農家に是非ソーラーパネルを。	ソーラーシェアリングは温暖化する将来、収穫を安定的に確保するために「温暖化防止策」になるのでは？！	畑へのソーラーシェアリングの補助 作業も日陰になり楽になる	なし畑ソーラー実証実験	ソーラーシェアリングの被害に対してどうする？大地震対策は？
太陽光を進める上で太陽板が将来寿命の際の処理にも考えていく必要あり。	農地へのソーラシェアリング設置	ソーラーシェアリングの認可条件のハードルを下げる(国の政策)。	遊休農地活用、ソーラー化、農業規模の大型化	耕作放棄地や休耕田を再生可能エネルギーをつくる基盤として活用していく	ソーラーシェアリングを農業分野に推し進めるために市としてバックアップしていく
太陽光発電のリサイクルを進める	ソーラーシェアリングの認可条件のハードルを下げる(国の政策)。	耕作放棄地の活用(耕地化とシェアソーラー)	耕作放棄地への一定面積のソーラーパネル義務	ソーラーシェアリングへの助成策	日本の農業の活性化を考え、農地(耕作している)への太陽光設置は考える必要あり。
出始め太陽光パネルが寿命となったとき買い替えがしやすい制度(補助金)づくり	ソーラーシェアリング				

ソーラーパネル以外の自然エネルギーを取り入れる	太陽光以外の自然再生可能エネルギーを増加(地熱とか)
千葉県全体で銚子沖洋上風力を進める	風力発電の見学会
世界の流れは風力発電(地熱もあり、既得権の打破)	風力の設置は白井の場合はむずかしいと思う。
バイオマスの活用	下水道で発電(水力)
自転車をこいで人力発電(街中に設置)	太陽光、太陽熱、地下水の活用 自然エネルギー直接活用
地中熱の活用	その他再エネ

CO2ガソリン車への税金を上げる。	売電価格の安定化(国)。
石油、ガス等の化石エネルギーの停止	売電価格の安定化。
CO2起源でなくて原発ではない再生エネルギー利用を推進	売電価格の安定化と送電線利用の自由化、再生可能エネルギーの普及

温暖化(日照り、高温、乾燥)に強い作物で収穫(収入)を維持	夏場(暑い日)に涼みに集まれる場所の提供
暑さに強い梨の品種改良	熱中症対策重要！！
適応策	

電気自動車購入助成。	自動車業界は脱炭素化が早く進んでいる。→業務用・家庭用自動車買替に補助。自動車(EV、FCV)の買い替えに対する補助等で促進してほしい
電気自動車導入する補助金を出す。	EV自動車への補助金
電気自動車の普及助成。	庁用車の全車を電気自動車にする
白井市の車はハイブリッド化へ	公用車のEV化を進める
電気自転車購入補助で自転車に頼らない生活の推進	電気自動車になるとガソリンスタンドはどうなるの？
EVが日本の中でどれだけ進展できるが疑問？！	

二酸化炭素排出実質ゼロ表明を白井市もする。	CO2エネルギー起源が9割の白井市→「市の目標数値を〇〇年までに〇割にする」と決める
白井市も「2050年CO2排出実質ゼロ」表明	市役所のカーボンニュートラル化早期実現
白井市の脱カーボンの宣言	

白井電力会社の設立	白井市内で作っている電力を白井市内でもっと消費することを後押ししていく市独自のエネルギー(自治体で作っている所もある)。
自治体新電力	市内にソーラーシェアリング、再生可能エネルギーの電力会社があることを強みにしていく
	再エネの小売 新エネルギーのサポート

電気自動車	2021年4月17日(公民センター(AM) 白井コミュニティセンター(PM)) 18日(桜台センター(AM)、富士センター(PM)) 25日(白井駅前センター(AM)、西白井複合センター(PM))
白井市の未来の環境と脱炭素を考える地区意見交換会	

再エネの目標設定の上CO2実質ゼロ宣言	脱炭素化・SDGs取組みの先進自治体となるよう、市が掛け声をかけて取組む。
「2050年までにCO2排出ゼロ」を表明して広域的に脱炭素に取り組む	白井市が(市長)脱炭素・SDGsを強く打ち出す。
脱炭素宣言	

再生可能エネルギーの電力を供給する会社に、白井市の電力を切換える。例(フジコー：本社白井市)	市庁舎の太陽光電力でまかなえるのは2%(非常用電力にもならない)どうにか増やせないか。
電気購入先変更	自治体電力

省エネの見える化	エコエネルギー住宅政策 税の軽減。	ZEH推進の為の独自助成	住宅のZEHができるように補助金などを増やす	建物(現建築物)へのZEHの場合の補助
省エネを推進する。白井発のガーデニングソーラーライトを全国に広める。美しい庭を作る運動。	ZEHの費用を低減する	エコエネルギー住宅政策 税の軽減。住宅に補助金を出す。	住宅政策 新しくたてる分譲住宅はゼロミッションへ	復サウンディングによる〇〇〇〇ZEBで建設する要求
高齢者が終の棲家としている持ち家に新たな投資をしてのZEBは基本あり得ない→二世世代目の同居を促す策が必要。	白井にゼロエネルギーのモデルハウス、公園を作る(ドイツなどの例を見本にする)。	不動産の流動化 ・建て替え ・改修 ・空き家対策 ZEH ZEB 省エネ 再エネ	市内で新築の建築物(特にビル、マンション、アパート、事業所)にZEBの義務付けor努力目標を条例化する	ZEH・ZEBの推進。CNT開設から40年で家屋・マンションの建替え時がチャンスであり節目となる。
省エネ家電の推進	エコハウスを増やす	住宅の省エネ	ZEH設計モデル、コンクールを実施。	ZEH/ZEBの促進のため市、国の助成を望む
	ZEH、ZEBの促進強化をする(白井市として)	ゼロエネルギー住宅の増加。	ZEH住宅について啓発する。	ZEHの耐用年数の長期化 30年～50年へ
	建物のゼロエネルギー化	いかに知らせるか エコエネルギー住宅を標準化する。	白井市は持家率が高い→住宅の改修、建替えを促していく。	LED照明の補助
家電等省エネ化	蓄電池・蓄電機の普及(価格の低下も必要)。	蓄電システム(機材)の低価格化による普及。	太陽光等の蓄電池が高い。	蓄電設備(蓄電池)の開発と低価格(普及)
家電の〇年ごとの買い替え条例	蓄電機を安く購入しやすくする(補助金)。	蓄電システムの導入と低価格化	充電ステーション	EV促進のための充電ステーション等
風の通る道、流れ(風利用)	エアコン熱シティ熱を放出しない工夫をする	道路面補装	空き地など芝や土の道に(アスファルトの道はいらない)	熱を遮断する、溜めるなどの素材の開発と活用。
建築申請を受ける際太陽光パネル設置(国の補助金)ZEB、ZEHを確認、推奨する	市内の道路を雨水浸透性のものに変える	雨水透とう(地下水大事！)	雨水浸透マス設置の推進	井戸水の地区が多いので井戸(地下水の熱などをうまく利用した農業や暮らし
補助金→家屋・車で脱炭素に協力するシステム。	省エネ化(人材不足の解消)DX化。	省エネアドバイザーの増員	省エネ事業者を増やす	
	家庭でできる省エネ対策の啓蒙(経年モニタリング等)	省エネや物資の利活用(ゴミ減量)のアイデアコンテスト→表彰	新規就農者へ 土地確保する代わりに省エネ施策対応を確約させる。	

生活	脱炭素(再生可能エネルギーなのか原発なのか)考える機会をつくる。昔ながらの暮らしの良さ、利点をふりかえる(電力が無いころの知恵)。脱炭素生活 できることからどんどん行なわなければ間に合わない。できることを増やしていく教育が必要。	工業団地・産業	工業団地に対して工場の屋根及び駐車場に太陽光パネル設置義務化	工業団地の企業(製造業)への脱炭素化のレクチャーや推進	工業団地でCO2を期限としないエネルギーへの移行とCO2を出さない作業工程の見直しを推奨する→(表彰・補助etc.)。炭素に頼らない新しい製品やシステムの構築(工業団地に期待)工業団地や商工会で脱炭素〇%達成・・・の事業者を把握し、市が表彰する。
			白井工業団地の省エネと再エネが進むように仕掛け	白井市のエネルギー消費量の現状を事業系の方が理解しやすいように見える化していく	
			白井市内のエネルギー消費量の90%が事業系ということを理解させて、ターゲットとゴールを行政と協力して達成していく	産業系(工場etc.)脱炭素の素材やシステムなどの新しいアイデアや融資情報(設備投資)の情報共有。	
			工業団地をもっと市民とみじかに♡	RE100の企業見える化	企業誘致に環境課題への取り組みを義務化していく

脱炭素に取組む先進自治体の例(電力の自前確保他)や専門家の見知を収集し、共有化していく。	広域連携によるエネルギーの効率化 DXも。	エネルギーの広域連携	炭素を出すエネルギーや炭素を出して作られた製品を買わない。逆に脱炭素のブランド価値を高く評価する。	CO2を出さない製品、食品、電力…を選ぶようにする	牛がCO2をたくさん出している(豚や鶏、ダチョウetc.を食べよう！)
			カーボンフットプリントを各種製品に表示し、消費者が選択できるようにする	CO2を排出している製品を買わない(経済に響くと一様に世の中は変わる)	エネルギーの量と質を考えながら選択していく。
			環境に配慮した購買活動を知る→行動	カーボンフットプリントを食品のカロリーや消費電力と同じように表示して、CO2多く輩出するものを買わない→企業は即改善する	バーチャルウォーターと同じようにCO2の量も国別に換算していく(難しい?)これをを使うと〇〇炭素を出しますよ・使いますよ・という表示をしていく。

広域連携	購買行動
------	------

北総線運賃値下げは住みやすさにつながる	北総線の値下げ 東京ベッドタウンとしての発展	"北総Line"は住みやすい街であるので持続可能な市運営が必要である。環境の保全を前面に打ち出して！！人口の世代の段差を解消(人口減少を抑制) 北総線の運賃値下げで街の活性化
電車の料金を下げる努力方法。	北総線運賃安く	
北総鉄道運賃	電車運賃の値下げ。	

脱自家用車①公共バスネットワークの拡充②自転車道の整備。	車の使用を少なくする	道路は少なくとも車道、歩道、自転車道と走りやすいきれいな道にしたい
公共交通の充実	公共交通機関の充実（車を減らす）	学校はスクールバスで。
バスの本数をふやす。	コミュニティバスの便を増やす	バスの運行量を増やす
グリーンスローモビリティ車両の市内循環輸送	ユニバーサルデザインの市内循環バスを使う(自家用車を減らす)	ナッシー号　バス運行はもっと使いやすくないか？

自転車で通りやすい道を増やす	自転車が安心して走れる道路。	自転車道路の整備。
自転車の通行をもっとできるように道路を整備する。	自転車道路の整備を急いでほしい(マイカー減らす)	サイクリング道路魅力。
自転車にもバックミラーを義務化してほしい。	里山と中心街を結ぶサイクリングロード（車社会を減らす）	自転車

まずは今ある緑地を良好に残しておく	コストのかからない緑地保全	緑地（市が欲しい）を増やす。固定資産税を減免→公園にカウント。	里山保全
緑を減らさない	樹木の植え替え	林の荒廃が目立つ。伐採してチップ化エネルギーに。	里山の保護　住民と政策
CO2を単純に減らすだけでなく、O2を産出する仕組みの高める(白井市として可能な範囲で)	森林の間伐(整理)	入る人が少ない林や、伸びすぎている、草や木を切ってほしい。	市道への木々の枝葉を剪定する
森林に若木を植樹	それぞれの家庭や企業で、木や花を植えて緑をふやす（福岡市「1人1花運動？」など）。	樹木は50年ごとに植え替えることとする	森林　CO2の吸収
植樹作業。	景観計画を策定し緑の保全	街が美しいと思える街づくり　ごみを無くし、緑が草ボウボウではなく生々としている	エココン(熟交授しているだけなので)の消費を抑制する
木を植えよう排出量取引。	里山緑地を守るため、森林インストラクターを養成する学校を作る	100年後の水辺を守るための森づくり	森林環境譲与税を活用して、森林の植樹と伐採した樹（木材）の利用
木を守る、私有林の木も守る	地域の自然環境の表現。→数字は示されているが、対象はよく解らない。	自然環境の現状の見せ方改善。	緑の更新
グリーンインフラ	危険な野生動物を、捕獲（たぬき・さるなど）。	林の整理を（山まで）市民とともにやってみる。	緑地の（林）整理して森林浴ができるところをつくる。
里山フットパス	木を植える。	平塚地区　桜の植樹（新しい木を！）	沿道開発の見直し
生物多様性のある緑地をコアとし、バッファゾーンとしての里山文化農業	緑地保全	身近な公園が整備されること	緑道を受着もてるようみんなで植樹する。
市の自然豊か緑が多い　裏付けとして脱炭素SDGsの取り組みを表明する	公共施設の屋上等で緑の活用	休耕地の草刈を進め堆肥化バイオマスエネルギーに。	森林環境税の有効利用
緑・二酸化炭素固定	湧水　水の治水　雨水涵養の道路、農地	森や林、池等整備する人を公務にしてほしい	河川敷の整備・改修(水流の維持確保)

人口増進に市の援助	子育てしやすい街づくり
子育て環境を良くする	工業団地に保育施設をつくってほしい（誘致のため）
子供育成活用	子育て世帯の支援
出産費用をもっと安くする。	給食費無料。
公園を増やして子育てしやすい市に。	幼稚園～大学まで無料化
子供3人以上の家庭に援助金を出す	子育て支援の充実。
結婚をしない人が多いの何とかしたい。合同お見合い。	子育て

カーシェアリングを市主導でもっと増やしてほしい。	水素エネルギーの開発と実現化　白井市でもやればGOOD（休耕田など活用して）
乗用車の共用化(シェア)を画る	水素
シェアリングエコノミーの促進	水素バス EVも電気の発電にCO2を発生させる　グリーン水素の研究
シェア	

空き地対策	空き地対策
空き地の使用について環境に係る市のルールを作る	空き地活用
荒地、空地をすべて公用化あるいは活動拠点とできる条例をつくる。所有者にメリット与えながら強制的にできるようにする。	空き家の活用
空き家を活用し、新規農業従事者を増やす。	空き家の活用
空き家を安く住宅が必要な方に貸し出す	空き家の活用
空き家の活用	空き家の活用
空き家の活用して街づくりにつなげる	空き家の活用
不要な建物は壊すか縮小して空いた場所は森林公園化する	空き家の活用
空き家長期化に罰則を	空き家の活用

空き地・空き家	空き地・空き家
水質	水質
水質を守る為に安全な洗剤・洗浄剤を利用することを推進してほしい。	水質

若い方が白井市から出ていかにように交通・教育・支援についての対策をする	就業人口を増やす為に女性の働きやすい社会を。その為に児童保育の充実を。現状の民間業者への委託は、指導員の資質を生かせず大変もったいないです。せっかくの人材が流出したり、退職の流れになっています。
住み続けたいと思う若い世代を呼び込む	若い人々が出て行かないように、この市にいたることがメリットある環境をととのえる。
産業振興＝雇用が市内で完結すれば、子育て世代も暮らしやすい	人口維持 白井市在住だった人が若者が白井市で住めるよう駅近賃貸公団の設置
子育て世代にとって魅力をアピール、町づくり(補助・健康・教育)	子育てしやすい環境をアピール、出た人を呼び戻す
環境の良さ・子育てし易さを市外にアピールするポイントとできるよう計画的に事業展開。	老人は駅近へ　子世帯は郊外へ
一旦白井市外に転出した若者が白井市に戻ってきたくなるような、施策、イベント、レガシー作り	子どもが安心して遊べる空地、公園が少ない。
働く世代の転入を促進する取り組み	転入促進
住みやすい街づくり　安心安全	

若者にとって魅力のある街。	衣食住のテーマパーク
若者が楽しめる街。	商業施設を増やす
下手賀沼をレクリエーション基地に。	もっとレストランを増やす。
魅力的なお店（飲食店など）増えるように。	駅を中心としたコンパクトな街づくり。
市内外のモデル事業を（店舗や工場などの建設、立て替え）広く周知していく	旧施設のリノベーション、テレワークの拠点として活用
沿道開発に一定の縛りを	インフラの守備範囲を制限する必要があるのではないか？
キャンプ場の復活を。	手賀沼周辺を観光地化する。
雑木林になっている山林をアスレチックやトトロの森のようにする。	白井はニュータウン事業により、高齢化と住宅の老朽化、国の方針をきちんと出させる必要あり。
工業団地内に展望塔づくり観光センターにもする。	北環状線の早期開通
農家や昔の文化財産を資料保存館を空地につくって観光資源にする。	国から出る補助金や助成金を市で強くアピール（家の建設・建て替えなどのチャンスをとらえる）
持家率が非常に高い白井市での建て替えの推進（マンション含む：コンクリート寿命も考慮）。	街づくり

産業振興	産業振興
雇用の創出	雇用の創出
・産業振興　・市内で雇用が完結によって若者世代を呼び込む。	・産業振興　・市内で雇用が完結によって若者世代を呼び込む。
市内、近隣地域の地産地消をもっと進めたい→農業を支援したい	市内、近隣地域の地産地消をもっと進めたい→農業を支援したい

介護の職場の誘致と若者への斡旋＋好待遇化	65歳以上の方々に環境づくりの原動力になっていただく
介護従事者への支援	グループ活動　若い☒ニア
介護従事者の腰の負担軽減の為に器具の導入。	高齢者が気軽に集まれる居場所づくり
介護施設（介護士）の増加と介護に関わる方への支援増加（手当等）。	高齢化しても使える移動手段を用意。（車にのれない、自転車はこわい）
介護施設の近くに住宅を建て、若年層が住めるようにする	高齢者も自由にタクシーのように使える車。
介護施設が絶対不足するので、地域の家庭が皆1つとなって互いに助け合うシステムをつくる。	高齢者のゴミ出し、独居高齢者の家じまい、ごみ問題をどうする？
白井市は高齢者の比率が高い、高齢者に優しい市政運営と高齢者の積極誘致	買い物支援　ショッピング巡り乗り物
逆走・ブレーキとアクセルを踏みちがい事故防止、早急に手を打つ。	エレベーターのない団地にエレベーターの設置
高齡者	安心して医療に関われること　費用・設備

農業参入しやすい。	農業従事者の維持	農業の後継者がいないのでだれかいないかつのる。	農業の教育がある。
農業法人化。	市街化調整区域 農業の保護⇔開発による有効利用	農業をやりたいくても収入が不安定→初期投資の融資(補助)必要	白井は梨の産地　後継者はいろいろ悩みながら進んでいる。今こそ自治体は若者としっかり協議していく体制をとる必要あり。
地産地消の店PR	農地の後継者斡旋の仕組み	農地の活用をあらゆる視点で考えていく。	畑にまく農業は安全なものだけにしてほしい。
家庭菜園をする人を増やす→遊休農地の利活用	下手賀沼の水質改善を進め漁業の復活。放射能？	中高大学生からの就業体験訓練、インターンシップの実施（農業工業）	ボランティアで農業を行うのは就業に入らないのか。
地産地消での推進	市内での雇用完結のための産業振興(子育て世代の利便性向上、交通にかかるエネルギーの低減)	農業をやりたい方(市外も)に農地を貸し出す	退職者に農業を含め元気に過ごす方法を見つけられるようにする
農業や林業を充実させる	農作業体験（子ども・高齢者）。	・働く場の創出　・企業誘致	白井市の農業育成のためのロードマップ作成と投資
農業(特に梨)の後継者確保	食料の地域循環率を高める	農業後継者を血縁にこだわらず他地域からでも受け入れる体制。その家庭にメリットがあることを感じさせる政策をとる。	チバGAP
白井の里山から涼風を全国に送る。	農業後継者の支援	白井市内で雇用が完結する産業振興や介護関連スタッフの確保。	休耕田や耕作放棄地にブルーベリーなどを植樹（小中学校で研究課題に。収益は農家へ）。
作物の地産地消　サイズが不揃いでも商品が販売できるように	農業生産者の継承者確保、優遇	荒廃農地の自由な利用、流動化。	農業を食糧源として、会社が参入する農業工場をつくる。一方で、緑の中で生産するところは好きな人を募集する。
遊休農地に耕作者をマッチングする。	退職者での農業就労支援を進める	農村地域での住宅規則の見直し。	農業を支える主体を広げる
農へのモチベーションを高める	梨園の拡張	梨畑減少　働き手不足　高齢者の働く場に	農業を保全
耕作放棄地の解消	農地・農業に関しては食料供給の面からも減らないための施策が必要(補助金・支援策を徹底する)	空家対策・フードロス（廃棄物）・農地活用。	農地保全
農家さんが75％へることによる対策　農地の保全。	野菜・米は自給自足のまち。		農業保全の負担を農家に偏らせない

健康増進を計る	健康維持　緑の中の散歩
高れい化のためなんとか健康でいたいのて運動をとり入れている。朝の散歩1万歩目標。	公園に健康器具の設置
高齢者も楽しく仕事ができる毎日。	老人たちの活用を考えたいです。例えば老人たちが家の中で引きこもっていると心身のために良くないということであちらこちらでサロンが開かれていますが、集まって歌を歌ったり軽い体操をすることが多いのですが、元気な方々も沢山いるので、もっと公園の草むしりとか道端の掃除とかしたいです。今はコロナで様々な活動が自粛されていますが、コロナ終息後に考えてみたいです
シニアの活用	100才代を活性化
定年制の延長	私も73才なので子供・孫のためにできるかぎりの事をしたい。なるべく子供に世話をかけず健康でいたい。
高齢者でも健康な方は就労を（生きがい・コミュニケーション・収入）	
二世帯住宅の補助	
高齢者が家・荷物の整理をして家が回転するように。	

循環社会の構築	3Rの推奨、啓発	ゴミ分別の方法をもっと細かく 丁寧なレクチャーで教える	不法投棄をされないよう、ゴミの出し方を周知する。	池の清掃 木 草 ゴミ
ゴミをへらす。資源化の啓発を充分に。	資源回収の徹底。	ごみの分別を徹底する	ゴミをポイ捨て不法投棄されない道づくり。	道路清掃 草 ゴミ
ごみ減量のさらなる促進策が必要(焼却以外)	資源回収業に対する市民の意識努力は高い！(インテリジェンス)	ゴミ分別のお手伝いをするボランティア育成	里山への不法投棄の解消	子供たちで海岸清掃（プラごみ理解の啓蒙）
一般廃棄物処理計画→「ごみの減量」と「値上げ」（有料化）→資源の有効活用を図る。ごみを減らすだけではなく、何を貰うかを選んでいく、又、再利用を考える。	ゴミを出さないようもっと資源回収団体を育てる。	生ゴミ処理コンポストの設置 共同で使えると助かります（自宅で行るのは大変）。	ゴミすてが多いので何とかしようとして、旗を立てたりして大変です。	運動公園への道路の乱開発アート：ゴミ粗大ゴミの回収を機動的に行う ダメ民有地だから回収しない。廃棄物目標の達成に寄与する分は少ないが、できる3Rを行う
ゴミ減量・有料化。	小中学校や自治体の資源回収に協力する業者を探す	子どもの環境育成教育 ゴミゼロ資源回収増やしていく。	下水処理 ゴミ処置	少し昔の暮らしの知恵を共有しリユース、リサイクル、不用品の交換や再生活用
ゴミ減量 生ゴミ・資源物	リサイクルBOXを設置 量に応じてポイントがつくようにする	生ごみの堆肥化を推進する	循環型で無駄なくリサイクル資源を活かしていく取組に協力（ホッカイロ・オムツ・フードロスetc.次々に出てきている。	プラスチック製品を使わない
ゴミの減量化だけでなくCO2やゴミを出さないものを購入する「賢い選択」の周知。	ガレージセールの普及	生ゴミ処理方法？プラスチック処理方法？車社会・・・高齢者は強制的に乗り換える（全自動以外は乗せない）。	生ゴミ問題は企業の方が進んでいる自治体は連携をとりながら対応していく必要あり。	フードロスは"0"にする。子ども食堂は個人でしているものを。落下した梨はジャムだけでなく、更に食品化を考えて梨農家を救う。野菜を廃棄させない。
ゴミゼロを年1回でなく月1回にする。	ホッカイロ・紙オムツ・携帯Telなど材料を再利用する社会的循環システムを構築する。	ごみに対する市民啓発 ・捨てない ・有効利用の提案	点で終わらず繋がるシステム(例)生ゴミ処理→コンポスト→土再生→田畑森林利用→人づくり	白井の昔の遊び、食べ物をお年寄りから幼稚園、小学生に伝えてもらう
ゴミの排出量削減と共に購入時に質を選ぶ習慣を作る。	リサイクルBOXを設置 量に応じてポイントがつくようにする	リサイクル（啓発）システム（わかりやすく）		
市内での過剰包装を減らす運動→消費者も選択して購入				

ごみ・清掃

環境教育推進	環境教育の増加	格差のない教育政策
環境教育(子供の頃から…→大人へ)	小中学生への環境教育、ワークショップ体験	保育・教育 自由、権利の拡大がもたらすマイナス面を学ばせる
エコスクール 学校にソーラーパネルバッテリーを無料で設置 千葉市、横浜市…	市内の幼稚園、小中学生の環境教育をさらに進める	児童福祉の拡大
エコスクール推進	幼・保育園での遊びながら環境を考える体制をくみ入れていく。	子供の力を生かす、育てる
学校のエアコン室外機熱も温暖化のひとつ。使う子供たちにもそのことを考えてほしい	学校の授業で伝える。	小学校の先生に、子供の発達についての研修を（知識がない先生が多い）。
環境は子どもの頃からの学びと意識が大切！大人と子どもが共通のテーマとして話すチャンスが多く必要。	小学生レベルでわかる程度の脱炭素、SDGsの知識を市民全員が持つようにする	学童の委託をまどか幼稚園にお願いしたい。
小・中学校で廃木を使った制作や森林の中の遊び（キャンプetc.）	自然生態系教育を小学生から具体的にする 子供のころからの森林体験（自然、屋外） 廃材などを利用したモノづくり体験 小学校の児童が白井市内の緑にあまねく触れられる学習の機会を作る	温暖化抑制の教育は子供から！ 環境→地球を大切にするための生活を考える授業が必須 小学校区ごとのまちづくりには地区の特性を残し、その度？テコ入れを（自校式給食）
白井の昔の遊び、食べ物をお年寄りから幼稚園、小学生に伝えてもらう	小、中学校の校庭の美化	教育・学校

凡例

4/17AM1班	4/17AM2班	4/17PM
4/18PM	4/18AM1班	4/18AM2班
4/25AM1班	4/25AM2班	4/25AM3班
4/25PM1班	4/25PM2班	4/25PM3班
		4/25PM4班

環境フォーラムを発展させて、環境に関心のない人へも情報を広げていく（ふるさと祭りなど市のイベントも活用）。広報：知らない人に知らせなければ無意味。	情報発信 魅力伝える 価値観の変化を子どもから大人まででしていく必要がある。	CO2削減や環境保護のアイデアコンテストを実施→表彰→情報共有。	科学者は科学的データをオープンに 政治は市民と向き合う政策決定を 行政は政策を着実な実施を（例えば空気中のCO2濃度）
慣れで電気や水、食料などを浪費しない意識改革！	白井市の魅力を環境問題から考えてく	個人への意識づけ 市の広報しろいや、eメール、SNS等でシリーズとして、脱炭素や環境・SDGsの発信を1年間位つづけていく（広く市民に周知）。	温暖化による被害状況を公表していく。
子供達が大人になった時という視点で、大人も子供も共に考える。	地域の団体やまちづくり協議会で話しをする「テーマ」に脱炭素や環境を！市の事業、施策がどんな脱炭素、環境に係るかを各課で見直す	50年前の生活に戻らないため個人は成果る様式の見直し(大量消費) 白井市のアピールポイント、市税遣・緑の豊かさを「脱炭素」「SDGs:環境」で裏付ける 子供から若者世代の昨今の関心ごとでもあるため環境に良いものを使うための知識を一人一人に広報する、知ってもらう 市民一人一人がサステナブルな生活を意識できるように広報に力を入れる 白井をPRするパンフをまとめてほしい人に提供できるようにする。	脱炭素や環境に関する目標と効果を数値で見える化(市、地区単位で) 温室効果にメタンガスの影響は？ 異常気象高温多雨二酸化炭素排出量の減少。
情報の発信方法の推進（市と意見などの情報の受け方）。	コロナと同じように脱炭素、SDGsでも新しい生活様式を作っていく(街づくり、自治会、学校などでも取り組んでいく)		行政が声をかけても、市民一人一人に「自分事」として取組んでもらう為、常に情報発信が大切。
広報しろい、SNSとメールなどで脱炭素、SDGsシリーズを作り、また国の動向の変化はトピックとして情報発信	地球温暖化 市が主導してティッピングポイントを明確にし、市民の環境への意識を定着させる		投資を惜しまず市民を巻き込む
施策、方針の変更を早く市民に周知して乗り遅れる市民がいないようにする	市の目標早く掲げる周知徹底。		白井市内の事業所を環境への取り組みができるようにセミナーを開き、協力を仰ぐ

国際

海外人材の交流	インターナショナルを増やす	移民政策 外国人家族の永住権を（農業・福祉就業）	人口問題 世界から集める世界80億人口どうする。
---------	---------------	-----------------------------	--------------------------

人材活用

ボランティアに市の援助

ボランティア活動
気軽にボランティア活動ができる仕組みづくり 現在の市民ボランティア等露光について周知が不十分？

地域の人材活用

地域のネットワーク 情報人材

生涯学習 リタイア世代を単なる消費者でなく環境保全の旗振り役に
まちづくり協議会や自治会など地域ごとの課題として楽しく取り組んでもらう

市民の価値観も環境重視に、日常生活でできる小さな変化にも積極的に

便利ではあってもアナログ(自分の体を動かして…)の生活を良さを共有していく

便利（コンビニエンス）≠快適（カムフォードフル）

エコ活動を引き続き進める

環境課に任せるのではなく環境課を中心に、庁内の各課が連携した協力体制をつくる。

市の魅力：緑の ・計画的な活用 ・個々の家庭での育成 ・農業人口の増加を推進する。

子供たちの提言を求め、生かす町づくり

基本的に資金が必要なので市の予算はどうか

市の権限を広げる（地方自治）

国:法整備、義務化、助成、補助金 市:新生鐵具喜、制度変更の度の広報周知、助成、補助金 役割分担し、広域連携も併せて考える

産業構造
価値の増殖、資本の蓄積をはかる資本主義体制のあり方を国家、グローバルで再考し、環境とのあり方を再構築する（市からの要望という形で）

教育委員会・危機管理課・健康課・市民活動支援課・産業振興課他と環境課との連携 庁内全体で取り組む必要。

市の税金計画での位置づけを明確に！→今後5年間で修正要？

白井市単独で取り組むのではなく他市との連携を

税金が増える政策（企業の誘致→優良企業！）→インフラの整備（公営企業の収入増対策）。

国の方針をまず整える 市町村の特色はそんなに多くはないのでは。

行政のあり方

人口の増加を考慮する
水の奪い合いが世界的に起きる「バーチャル・ウォーター」についての考察→農・工業に影響が出てくる。

すぐやる課（少なくともすぐ考えて対応する）ところを作る。何日言っても変化なしはダメ。
市に環境下以外の専門担当者を置く（色々な課にまたがることなので）

グリーンインフラを広域連携、大きなエリアとして考える(自治体間、あるいは県で)

地方創生 SDGs 補助金 次年度以降エントリーできるように、白井市の方向づけを市民が行う

コロナ対策と同じく個人の協力だけでは問題解決できない。政治が率先して解決策を提示すべき

地球のキャバをを考えて生産調整をする体制をつくる

考え方

災害時の避難場所の確定	防災として地域井戸制度を確立していく
水害被害物の置き場所	防災視点。近くのコンビニの電力を守る。
地域のつながり→防災防犯	災害がくる前にどうしたら良いか？を市・市民で考えて準備をする
蓄光材を使用した蓄光ランタンを電気利用の少ない地域、国へ広める。	環境と防災視点。非常時、HV電池を家庭で使える方法をPR。
災害の時電気不足→避難所と地区の電力を結び付け	蓄光材とソーラーライトを組み合わせた防災グッズを白井から広める。
環境にまつわる災害・産業・教育・交通…全てのリンクする問題を連携して考える	自然災害による被害に対する補償をアピール充実させる→農業を始める人が増えるのではないかと

防災

クリーンセンターを脱炭素の観点で見直していく	吉田地区の新しいクリーンセンターでの・脱炭素 ・熱エネルギー活用 を計画に入れる。
吉田地区の新しいクリーンセンターの計画の見直し・脱炭素 ・熱エネルギーの再利用。	グリーンセンター(新)での脱炭素やエネルギー再生力などを3市町の住民にわかるように数値で示し公表、公開する
吉田地区の新クリーンセンターの脱炭素化、エネルギー、熱の利活用の再検討	吉田地区の新クリーンセンターの脱炭素化、エネルギー、熱の再利用を再考していく。
市の設備(大規模改修など)公共施設整備時に、脱炭素やSDGsに効果が出る考え方を	クリーンセンター

道路の案内を（山の中など）蓄光材を使用して人がハイキングなどで入りやすくする。	サマータイムの導入
図書館の充実を（リクエストしても手に入らない。時間がかかる現状）。DVを減らす 虐待から殺人・重罪・育児放棄も同様 ・児童相談所の改善。	神崎川の整理
不動産（持ち家）の流動化・持ち家を担保にした融資（死亡後、売却） ・終活ノートに不動産の始末を記し、子供に指示etc.	大山口小学校の図書室にエアコンを。コロナで窓を開けているとますます寒くて、へやにいられません。
固定資産税がまかなえる個人資産の投資をすすめる。	自治会への加入率を上げる仕組みを考えていく
	電磁波過敏症の理解、対応を進める
	桜台中小の自校式給食センターは市の全体を一括したセンターで賄うことにする

その他

人口問題 ロボット化 農業 工業	デジタル化による効率化
空中を利用した乗り物の利用	磁気を利用する技術が進むと思う

技術

	4／17AM1班		4／17AM2班		4／17PM		
	4／18PM		4／18AM1班		4／18AM2班		
	4／25AM1班		4／25AM2班		4／25AM3班		
	4／25PM1班		4／25PM2班		4／25PM3班		4／25PM4班